

科学で遊んで世界が広がる。 不思議発見!

銀河に銀河が行く?!

西東京市自慢のひとつでもある多摩六都科学館。ここでは、科学の世界に触れ、不思議と出会うことで、楽しみながら学べる場所。なぜ?を楽しむ仕掛けがいっぱい。

約100点の体験展示でワクワク、ドキドキ、たくさんの体験が待っています!今回はPR親善大使の棟朝銀河さん(セイコー社員アスリート)と一緒に、見どころの一部をご紹介します。

ワクワク、ドキドキを楽しもう!

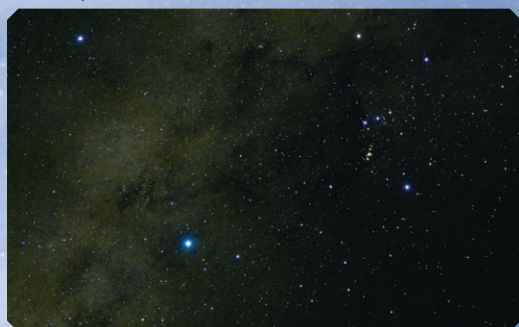


ドームの高さは地上約20m。
棟朝さんがトランポリンで飛ぶ高さは8m超え!



があったら、QRコードを読み込んで
“動く市報”を楽しんでみよう

2月に見える「オリオン座」や「おおひぬ座」のシリウス。どれかわかりますか?



見てキラキラの 45分

世界最大級ドームで星空巡り

プラネタリウムドーム“サイエンスエッグ”の大きさは、なんと直径27.5m!足元から頭上まで星空や映像に包まれる傾斜型のドームは、まるで宇宙空間にいるように、満天の星を全身で体感できます。

全編生解説で、解説員により異なるBGMや語り口は、ファン多数。

1億4000万個を超える圧巻のキラキラ輝く星に癒やされながら、子どもはワクワク、大人は非日常の空間で日常をリセット。

世界最大級!/
観測されたデータを基に鮮明に投影する
光学式投影機「CHIRONII」

こんなに立体的に
大地を表した
地球儀だったんだ!



実物大のスペースシャトルは、
中に入ることもできる!



からだの
しくみって
面白いよね



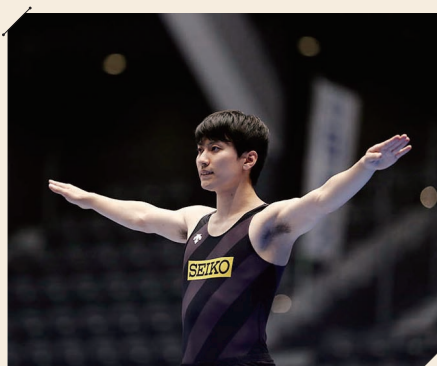
人体探検

スペースシャトル

たくさんのことに触れ、自分の一番楽しいを見つけて!

子どもの頃に家族で来ていた場所なので、懐かしいです。あの頃はただ楽しかっただけですが、大人になって来てみると新しい発見がありますね。幼少期はいろいろな体験をすることがすごく重要だと思います。私も、いろいろな経験をさせてもらい「一番楽しい」と思ったのがトランポリンでした。世界大会に出るようになった今も、苦しいことはあるけど、やめたいと思ったことはない。科学館ではいろいろな体験ができるので、その中で興味があることを見つけて楽しんでほしいですね。いつかここから世界的科学者になる子どもが出てほしいです!

インタビューの
全容は
こちらから



プロフィール

西東京市谷戸第二小学校を卒業。

現在は、セイコー社員で、リオオリンピックでは4位入賞、2017年世界選手権では、団体銅メダル、2019年世界選手権シンクロ種目にて金メダルを獲得。

トランポリン競技を牽引している。